〒387-0007 長野県千曲市屋代859-10
発行所 長野県屋代高等学校同窓会
電話番号 (026)274-3310
ＦＡＸ (026)274-3315
ホームページ http://hatokai.jpn.org
発行人 赤地憲一
印刷所 カシヨ株式会社

令和７年度 総会開催される

「クラブ活動地域化」対応予算を盛り込む

今年度の総会は、去る5月31日(土)に鳩陵会館において開催された。(来賓3名、役員等12名、支部長24名、学年理事30名計69名の出席)。

議事に先立ち、母校スーパーサイエンス校 設定科目である「一人一研究」の成果として附属中学校3年の西沢智花さんが、「特産品を生かして稲荷山を活性化!」と題しプレゼンが行なわれた。稲荷山の再興に向けての提案を参加者一同興味深く研修できた。

議事では令和6年度の事業報告、決算報告及び令和7年度の事業計画（案）、予算（案）、特別会計等決算・予算（案）、等の議案がそれぞれ原案どおり承認され終了した。

新規事業としては、市町村中学校の「クラブ活動の地域化」に伴い附属中学校において、従来どおり学内において活動が存続できるよう、学校支援予算が盛り込まれた。

新支部長・退任支部長の紹介（敬称略）

支部名	新支部長	旧支部長
雨宮	冨澤　幸正(高20)	高野　敬道(高19回)
桑原	柳澤　隆(高20)	宮崎　一雄(高20回)
東条	松田　司(高20)	小林　稔(高18回)
共和	越川　悟志(高21)	藤澤　善雄(高16回)
中津	戸沢　一雄(高23)	堀内　剛(高18回)

母校の「大学合格力」２年連続、全国高校ベスト200校に

令和7年度の卒業生大学進学状況については、第2面でその詳細が語られているが、『全国高校合格力ランキング』(ダイヤモンド社、8月号)では、「大学合格力」【註】として、本校の実績を全国で第128位、県下で第3位（昨年度は全国160位、県下2位）にランクしている。校長先生はじめ先生方、そして卒業生諸君に心よりの敬意とお慶びを申し上げたい。キャリア支援室部長の堀裕先生は「行きたいと強く思う大学に入学できた生徒が多かったことは、喜ばしい限りです。屋高生には、文武両道を全力で追及していこうという伝統が引き継がれていきます。」と所感を寄せられた。

【註】国公立179大学、難関私学14大学、及び医学科ごとに偏差値をもとに算出した難易度を、各高校の合格者数を乗じて加重平均した合計を卒業生数で除したもの。

高77回理事・令和6年度生徒会長
名古屋大学法学部1年
小林洋允君　談話

令和七年度大学入試において、私たちが力を十二分に発揮することができましたのは、屋代高校の探究を中心として生徒の主体的に学習する力を高めるカリキュラム、それを形にして生徒の力を伸ばす先生方のご指導、そして同窓会の皆様による御支援のおかげに他なりません。共に挑んだ仲間を代表し、支えてくださった皆様へ、心より御礼申し上げます。今春進学いたしました私たちは。母校で培った探究力を最大限に発揮し、御恩へ報いることのできるよう、そして魂の故郷屋代に恥じぬ人物となれるよう、精進してまいる所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

名誉校友　瀬在幸安博士を悼む

会長　赤地憲一（高17回）

瀬在幸安 博士
昭和5年（1930年）生～令和7年（2025年）2月15日ご逝去、95歳

旧埴科郡内川のお生まれ、高校第1回のご卒業で、日大医学部博士課程修了後、超難関と言われた医学分野・フルブライト留学試験に合格され、昭和40年（1965年）渡米。当時世界の心臓外科学の最先端であったオレゴン州立大学、A・スター教授のもとで研究と手術に専念。帰国後の昭和45年、心筋梗塞症の手術であるバイパス手術及び補助人工心臓分野での離脱（昭和57年）において、日本及びアジア・ヨーロッパ地域で最初に成功され、二十世紀を代表する手術として『世界外科学史』（1986年、考古堂書店）に記載されている。第10代日本大学総長、心臓外科医・天野篤教授の恩師としても著名。また、英国オックスフォード大学をはじめ海外十余の大学から名誉博士号、フランスからは最高位のパルマアカデミア・コマンドゥール賞、等を授与された。千曲市の初代名誉市民。

瀬在幸安博士には3人の恩師がおられたと思量する者です。お一人は医学部時代、瀬在博士を心臓外科学に導かれ、「医学は愛情に満ち、常に進歩を求めている。」というその言葉を博士が座右の銘にされた宮本忍教授。そしてお二人目は、当時世界の心臓外科分野で最先端でおられ、瀬在博士を3年間にわたり指導され、帰国時には（昭和43年、1968年）「米国で最も死亡率が高い心筋梗塞症の手術は、日本でも必ずその時代がやってくる。」という言葉で激励された、オレゴン大学A・スター教授。そしてもうお一人は、屋代高校時代の恩師、博物・植物学の長谷川五作先生です。

長谷川先生のことを博士は、「豊かな学識と人柄からにじみ出る講義からは、学問の基礎を教えていただき、生涯にわたり深い感銘を受けている。」と述懐されています。

瀬在博士が、二十世紀最高の生理学者「ハンス・セリエ賞」の受賞でチェコを訪れた際（平成2年）、メンデルが実験されたブルノの教会の庭で、メンデルに対する祈りと共に長谷川先生に対しても「メンデルの法則をいち早く実証され、心臓外科に身を投じた一人として多大の感化を賜りました。」と祈りを捧げられている。

瀬在博士は、長谷川先生に、終生ある疑問を持っておられました。――「メールもファックスも無い時代、先生は何によってメンデルの法則を、公になったその年1900年に知り、どんな風に興味を抱いたのか。生命科学を追求する身としては、資料を探しています。」と『週刊新潮』の「尋ね人掲示板」に投稿されます（平成17年6月号）。

『屋代高校百年史』（令和4年）へのご寄稿にあたっては、博士からは次のようなお問い合わせをいただきました。「後年日本大学教授に就任して間もない頃、京都大学に心臓血管外科学の講座が新設されることになり、その教授選考委員長の日笠頼則教授（日本外科学会、京都大学外科学教授）から、招聘されたが、こうしたことを百年史に書き残してもよろしいか――。」功成り名を遂げられた博士から、このようなお問い合わせを頂き、そのご誠実さ、謙虚さに感動を覚えると共に、心筋梗塞症に対する冠動脈バイパス手術は、当時世界の心臓外科学の最大の課題であったことを理解する者です。

瀬在博士の恩師に対する限りない尊崇の念、誠実で飽くなき探究心に富まれた、人類の幸福に多大な貢献をされた医学者瀬在幸安博士に、心よりの敬意と感謝を捧げ、同窓皆様と共に心よりご冥福をお祈り申し上げます。

瀬在博士御寄贈
ウルゴスのホール時計

【参考図書】
・瀬在幸安『希望と感謝―私の90年の歩み』（2021年、創森社）
・『屋代高校百年史』（2024年、ぎょうせい）

令和６年度一般会計決算書

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

収入金額　10,615,950円　支出金額　9,643,863円　差引残高　972,087円　（次年度繰越金）

収入の部　（単位：円）

科目		予算額	決算額	増△減	備考
1	繰越金	1,330,977	1,330,977	0	前年度より
2	入会金	2,780,000	2,780,000	0	10,000円×新入生278人
3	年会費	6,200,000	5,918,000	△ 282,000	振込1,071人・支部1,888人
4	寄付・協力金	10,000	326,180	316,180	ホームカミング鳩会、ご成婚料
5	校友会費	240,000	240,000	0	3,000円×中学新入生80人
6	雑収入	223	20,793	20,570	100周年会員名簿売上、利息等
合計		10,561,200	10,615,950	54,750	

支出の部　（単位：円）

科目		予算額	決算額	増△減	備考
事業費		6,580,000	6,041,810	△ 538,190	
1	総会費	70,000	53,903	△ 16,097	退任支部長御礼、お茶代等
2	会議費	20,000	20,329	329	お茶代等
3	支部助成費	1,100,000	910,200	△ 189,800	会費還元、支部総会祝儀等
4	会報発行費	2,300,000	2,185,114	△ 114,886	会報印刷代、郵送料等
5	「鳩の会」助成費	2,400,000	2,200,000	△ 200,000	NPO「鳩の会」助成
6	その他事業費	110,000	49,220	△ 60,780	ホームカミング鳩会祝儀等
7	慶弔費	180,000	345,144	165,144	入学・卒業式生花、学校職員餞別、他
8	旅費交通費	400,000	277,900	△ 122,100	役員会・支部会費納入・会報受領等の旅費
事務局費		3,981,200	3,602,053	△ 379,147	
9	雑給	1,500,000	1,236,150	△ 263,850	事務局関係謝礼、各種御礼、他
10	消耗品費	60,000	45,235	△ 14,765	用紙類、事務用品、トイレットペーパー等
11	通信費	300,000	288,353	△ 11,647	はがき、切手、電話・ネット料金等
12	電算処理費	30,000	30,000	0	ＩＴ指導料
13	事務局管理費	160,000	156,420	△ 3,580	複合機リース代
14	手数料	260,000	214,756	△ 45,244	年会費取扱手数料、振込手数料等
15	特別基金会計積立	1,000,000	1,000,000	0	周年事業基金への繰出し
16	会館維持基金積立	500,000	500,000	0	会館維持基金への繰出し
17	雑費	71,200	131,139	59,939	新聞広告、卒業アルバム、他
18	予備費	100,000	0	△ 100,000	
合計		10,561,200	9,643,863	△ 917,337	

令和７年度一般会計予算書

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

収入金額　9,942,700円　　支出金額　9,942,700円

収入の部　（単位：円）

科目		本年度予算額	前年度予算額	増△減	備考
1	繰越金	972,087	1,330,977	△ 358,890	前年度より
2	入会金	2,830,000	2,780,000	50,000	10,000円×高校新入生283人
3	年会費	5,700,000	6,200,000	△ 500,000	振込1,020人、支部1,830人
4	寄付・協力金	200,000	10,000	190,000	ホームカミング鳩会等寄付
5	校友会費	240,000	240,000	0	3,000円×附属中学新入生80人
6	雑収入	613	223	390	利息、他
合計		9,942,700	10,561,200	△ 618,500	

支出の部　（単位：円）

科目		本年度予算額	前年度予算額	増△減	備考
事業費		6,767,000	6,580,000	187,000	
1	総会費	67,000	70,000	△ 3,000	資料作成費、退任支部長御礼、送付代　等
2	会議費	20,000	20,000	0	役員会、お茶代等
3	支部助成費	1,080,000	1,100,000	△ 20,000	会費還元、支部総会祝儀等
4	会報発行費	3,100,000	2,300,000	800,000	会報印刷代、郵送料等
5	「鳩の会」助成費	1,900,000	2,400,000	△ 500,000	NPO「鳩の会」助成
6	その他事業費	70,000	110,000	△ 40,000	ホームカミング鳩会祝儀
7	慶弔費	180,000	180,000	0	香典、弔電、学校職員餞別
8	旅費交通費	350,000	400,000	△ 50,000	支部総会、役員会、会報受領等の旅費
事務局費		3,175,700	3,981,200	△ 805,500	
9	雑給	1,500,000	1,500,000	0	事務局関係謝礼、各種御礼、他
10	消耗品費	55,000	60,000	△ 5,000	封筒、用紙類、事務用品
11	通信費	300,000	300,000	0	はがき､切手､電話・インターネット料金等
12	電算処理費	30,000	30,000	0	パソコン管理費等
13	事務局管理費	160,000	160,000	0	複合機リース代、他
14	手数料	240,000	260,000	△ 20,000	年会費取扱手数料、振込手数料等
15	特別基金会計積立	600,000	1,000,000	△ 400,000	周年事業のため特別基金会計に繰出し
16	会館維持基金積立	200,000	500,000	△ 300,000	会館維持基金に繰出し
17	雑費	70,700	71,200	△ 500	卒業アルバム、新聞広告他
18	予備費	20,000	100,000	△ 80,000	
合計		9,942,700	10,561,200	△ 618,500	

ご挨拶

校長　馬　場　正　一

赤地憲一同窓会長様をはじめ、同窓生の皆様におかれましては、日頃より母校の教育活動に対し格別なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

今春の卒業生は、延べ合格者数で、国公立大学が１６９名、私立大学が４８８名を数え、その内訳としては、東大３名、京大３名、東北大１２名など、大変な健闘を見せてくれました。今年も、入試直前の年末年始には同窓会館を開放していただき、多くの生徒が学習に励みました。こうしたご支援があっての進学実績であると、深く感謝申し上げます。

生徒たちは勉学に励むとともに、班活動や生徒会活動にも熱心に取り組み、活気に満ちた学校生活を送っております。こうした生徒の姿や本校の魅力を、より多くの地域の皆様や中学生の皆さんに伝えていきたいと考えております。

文科省指定スーパー・サイエンス・ハイスクール（ＳＳＨ）事業は、今年度が「先導的改革型Ⅱ期」の２年目にあたります。昨年度は新たな取り組みとして、信州大学と連携し、県内外の高校に呼びかけて課題研究研修会を実施いたしました。本校がホスト校を務めた研修会は充実した内容となり、参加者からも大変好評をいただきました。

ＳＳＨ事業は、本校が全校体制で取り組む課題研究が評価され、全国に成果を発信する立場として指定を受けています。今後も事業内容のさらなる改善を図り、生徒たちにとってより有益なものとなるよう努めてまいります。

今年度は、これまでのところ感染症による学校生活への大きな影響もなく、行事なども予定どおり実施できております。現在は、６月末に開催予定の文化祭に向けた準備が進んでおります。文化祭には、ぜひ同窓生の皆様にもご来校いただき、現在の学校の様子をご覧いただければ幸いです。

「魂の故郷屋代」として、進取の精神をもって、今後も充実した教育活動に教職員一同、励んでまいります。最後になりましたが、屋代高校同窓会の益々のご発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

令和６年度卒業式

高校第77回の卒業式は令和７年３月１日（土）に行われ、２６７名の若鳩が母校を後に、大空へ飛び立って行った。附属中学校の卒業式は同年３月19日（水）に挙行され、卒業生80名に卒業証書が授与された。

令和７年度入学式

令和７年度の入学式は４月５日（土）に挙行され、高等学校２８３名、附属中学校80名が晴れて「鳩が丘」の一員となった。伝統を受け継ぎ先輩たちに続こうとする生徒たちが、胸を張って入学式に臨んだ。

母校の現況

2025年度大学入試結果
国公立現役合格者数１６９名
難関大合格者増える

（現役既卒計）東大４、京大５、国公立医学科８、一橋３、東北１２、信大38名

キャリア主任　堀　裕　先生

１月に実施された新課程初年度の共通テストでは従来の７科目に加えて「情報Ⅰ」が新たに課されました。他にも「数学」「地理歴史」「公民」で科目構成が見直されましたが、問題作成方針に大きな変化はなく、分量が多くなっている傾向がずっと続いています。その共通テストに８科目受験で臨んだ屋高生は前年に引き続き９割を超えました。科目を絞らずに総合力で勝負する生徒が多かった点は称賛に値します。その結果、国公立に１６９名が合格、実進学者は１５１名に達しました。行きたいと強く思う大学に見事合格して入学できた生徒が多かったことは喜ばしい限りです。

大学別の出願状況では、国公立大学ではやはり信州大が出願数・合格数とも最多で、富山大がその次に続きました。東北大への出願・合格数も増えました。私立大学の出願数が多かったのは、東洋大、法政大、早稲田大、明治大の順でした。

現役生の合格実績の内訳を見ると、北大１、東北大12、東大３、一橋２、名大１、京都３と、旧帝大・難関大への合格者が増えました。地元の信大には32（うち医学科２）名が合格、国公立大中後期では31名が合格したことも特筆すべき点です。私大に関しては延べ４８８名が合格、72名が入学しました。既卒生は、東大１名、京大２名、医学科５名を含めて、国公立大には合格者21名と健闘しました。

屋高生には、受験に臨む前の学校生活の中で「文武両道」を全力で追求して「質実剛健」の精神を身につけるという大切な伝統が引き継がれています。

同窓会の皆様には、学校の校舎が使用できない期間に同窓会館を学習室として利用させていただくなど、多くの応援をいただき、本当にありがとうございました。そして今年の卒業生たちがこれまで受けてきた恩を、今度は新たな地で大勢の方々にお返しながら活躍してくれることを期待しています。

国公立大学合格者数

国立大学	現役	既卒	合計
北海道	1	1	2
東北	12		12
秋田	1		1
山形	2		2
福島	1		1
茨城	2	1	3
筑波	2	1	3
宇都宮	2		2
群馬	1		1
埼玉	5		5
千葉	6		6
電気通信	3		3
東京	3	1	4
東京学芸	1		1
東京農工	1		1
一橋	2	1	3
横浜国立	1		1
新潟	6		6
上越教育	4		4
富山	18	1	19
金沢	8		8
福井	1	1	2
山梨		1	1
信州	32	5	37
静岡	1		1
名古屋	1	1	2
三重	1		1
京都	3	2	5
大阪		1	1
大阪教育	1		1
奈良教育	1		1
和歌山	1		1
琉球	1		1
国立大　計	125	17	142

公立大学	現役	既卒	合計
青森公立	1		1
秋田県立	1		1
国際教養	1		1
茨城県立医療	1		1
高崎経済	6	1	7
前橋工科	2		2
埼玉県立	1		1
東京都立	5		5
横浜市立	3		3
長岡造形	3		3
石川県立	2		2
石川県立看護	1		1
公立小松	1	1	2
長野県看護	3		3
長野	3		3
長野県立	3	1	4
静岡県立		1	1
大阪公立	2		2
公立鳥取環境	1		1
島根県立	2		2
山陽小野田市立山口東京理科	1		1
周南公立	1		1
公立大　計	44	4	48

国公立大合計	現役	既卒	合計
	169	21	190

※【医学部医学科】

国公立大学	現役	既卒	合計
富山	1		1
福井		1	1
山梨		1	1
信州	2	3	5
国公立医学部医学科 計	3	5	8

私立大学	現役	既卒	合計
東北医科薬科	1	1	2
自治医科		1	1
獨協医科	1		1
国際医療福祉	1		1
北里	1		1
慶應義塾	1		1
順天堂	1		1
帝京	1		1
東海	1		1
日本	1		1
関西医科	2		2
私立医学部医学科 計	11	2	13

私立大学合格者数

私立大学	現役	既卒	合計
東北福祉	2		2
東北医科薬科	1	1	2
自治医科		1	1
獨協医科	1		1
国際医療福祉	4	1	5
群馬パース	3		3
高崎健康福祉	3		3
獨協	4	4	8
文教	11		11
聖徳	1		1
千葉工業	7		7
帝京平成	1		1
青山学院	8	1	9
桜美林	2		2
学習院		2	2
北里	9	2	11
共立女子	1		1
杏林	7	2	9
慶應義塾	7	2	9
工学院	10	2	12
國學院	2		2
国際基督教	1		1
国士舘	1		1
駒澤	7		7
実践女子	1		1
芝浦工業	6		6
順天堂	4		4
上智	4	1	5
成蹊	2		2
聖路加国際	2		2
専修	11	2	13
大東文化	2	1	3
大正	1		1
玉川	3		3
多摩美術	1	1	2
中央	7	2	9
津田塾	4		4
帝京	4		4
東海	5	3	8
東京医科	1		1
東京家政	6		6
東京経済	3		3
東京工科	15	1	16
東京歯科	1		1
東京女子	2		2
東京電機	4	1	5
東京農業	17	1	18
東京薬科	3	3	6
東京理科	9	2	11
東邦	1		1
東洋	39	7	46
日本	17	4	21
日本獣医生命科学	1		1
日本女子	4		4
日本赤十字看護	2		2
法政	23	6	29
星薬科		2	2
東京都市	1	2	3
武蔵野美術		2	2
武蔵野	3		3
明治	20	6	26
明治学院	2	2	4
明治薬科	2	3	5
明星	3		3
立教	8	3	11
立正	1		1
早稲田	16	2	18
東京工芸	1	1	2
麻布	1	1	2
神奈川	14		14
関東学院	1		1
新潟医療福祉	1		1
新潟薬科	1		1
金沢工業	14		14
北陸	1		1
金沢学院	1		1
山梨学院	1		1
松本	8		8
清泉	3		3
長野保健医療	7	1	8
愛知工業	1		1
愛知淑徳	2		2
大同	1		1
中京	11		11
名古屋外国語	2		2
名古屋芸術	1		1
名城	1		1
京都産業	2		2
同志社	1	6	7
佛教	1		1
立命館	13	4	17
龍谷	14		14
大阪経済	13		13
関西	4		4
関西医科	2		2
近畿	5	2	7
関西学院	6		6
私立大　計	488	90	578

短期大学合格者数

短期大学	現役	既卒	合計
東洋食品工業短大	1		1
短大　計	1	0	1

専門学校・大学校等合格者数

専門学校 大学校等	現役	既卒	合計
エプソン情報科学専門学校	1		1
高山美容専門学校	1		1
東洋公衆衛生学院		1	1
専門学校等 計	2	1	3

班活動報告

《運動班》

◇ハンドボール班女子
四年連続インターハイへ

６月６日（金）から３日間、ことぶきアリーナ千曲で行われた県大会で本校女子チームが優勝。８月に岡山県で開催されるインターハイに出場する。キャプテンの佐藤胡桃さん（３の７）談「これまでは試合中に波があって調子が下がるときがあることがチームの課題であった。県大会決勝戦では、１・２年生の力も借りてチーム全員で諦めずに自分たちの流れをつかめたことが優勝につながったと思う。」インターハイでの活躍も期待したい。

◇水泳班
女子２選手が優勝
男子は総合で４位入賞・女子は８位

鈴木茉陽さん（３―３）【写真】は、女子個人メドレー２００ｍと４００ｍで「３年連続２冠」という偉業を達成し、城本悠さん（２―６）は、女子４００ｍ・８００ｍ自由形で初優勝を遂げた。

男子は、１００ｍバタフライで三井連真君（１―７）が２位、50ｍ自由形で３位。４００ｍ・２００ｍ個人メドレーで奥田永遠君（３―１）が２位、４００ｍリレーでも３位入賞を遂げた。

学校対抗得点で男子は45点を獲得して４位という快挙（昭和58年以来42年ぶり）を成し遂げた。

また、女子は35点を獲得し８位に入賞した。

写真提供　信濃毎日新聞　2025年６月30日

《文化班は三面へ》

2025年度前期　長野県高校総合体育大会結果
（県８位以上を掲載）

競技		県大会成績	上位大会
陸上	男子	110mH　小池 秀吾（１年）７位 走高跳　久保 桜河（２年）５位	北信越大会出場
柔道	男子	90kg級　室賀 泰斗（２年）５位、清水 理央（３年）５位 100kg級　依田 銀次郎（１年）５位	北信越大会出場
	女子	70kg級　松永 渚（１年）３位	北信越大会出場
テニス	男子	団体　４位	
	女子	団体　ベスト６	
バスケットボール	女子	（１・２回戦を突破）ベスト８	
ハンドボール	男子	準優勝　北信越大会出場　①37－18　新潟明訓　②24－37　氷見	
	女子	優勝　インターハイ出場　北信越大会出場　①14－27　小杉	
弓道	男子	団体　ベスト８	
水泳	男子	50m自由形　三井連真（１年）第３位 200mバタフライ　横山敦一（２年）第７位 〃　太田淳貴（３年）第８位 200m個人メドレー　奥田永遠（３年）第２位 400m個人メドレー　奥田永遠（３年）第２位 100mバタフライ　三井連真（１年）第２位 〃　太田淳貴（３年）第６位 ４×100mフリーリレー　第３位 ★　学校対抗　男子総合　第４位　得点45点	北信越大会出場
	女子	800m自由形　城本　悠（２年）第１位 〃　鈴木穏流（１年）第７位 400m自由形　城本　悠（２年）第１位 〃　鈴木穏流（１年）第７位 200m個人メドレー　鈴木茉陽（３年）第１位 400m個人メドレー　鈴木茉陽（３年）第１位 ★　学校対抗　女子総合　第８位　得点35点	北信越大会出場
山岳	男子	団体　３位	北信越大会出場
空手道	男子	団体形　４位	
		個人組手　小林 歩斗（３年）ベスト８	
	女子	団体組手　３位　北信越大会出場　①　０－５　高岡第一	
自転車競技	男子	１㎞TT　３位　小林洋平（２年）	北信越大会出場　スプリント　６位
ソフトボール	女子	（北信合同チームとして）４位	

(続) 班活動報告《文化班》

◇全国高等学校総合文化祭（7／26～31香川県）
ギター・マンドリン班
弦楽班　2年生8名
将棋班　仁科拓人君（2の4）

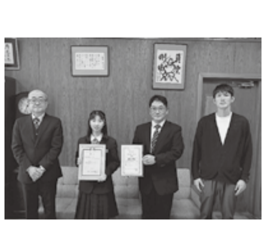
◇全国高校ギター・マンドリン音楽コンクール
ギター・マンドリン班
（7／26、27大阪府）出場

◇家庭科班「SDGsみらい甲子園」甲信越大会
3年　今井結衣　守屋美音
　　　石川紗彩　田中美桜

探究活動「一人一人が輝ける社会を！～認知症の理解を深め、いつまでも笑顔で～」での継続的なボランティア活動やハンドメイドの取り組みが評価され、去る3月21日八十二銀行賞を受賞しました。

◇全国そろばんコンクール　附属中生、優勝

昨年12月開催された同コンクールにおいて、金山奈央さん（3A）が、中学2年生の部で優勝を飾った。このコンクールでは、金山さんを含め4名が満点を獲得。その後の優勝決定戦で、北海道の中2生と共に優勝を分け合った。



ホームカミング鳩会・支部総会

「ホームカミング」令和7年度予定

回期	代表理事	開催日等	場所
高33回	島田　栄一 北澤　真紀	令和７年８月14日（土）	メトロポリタン長野
高31回	青木　勝男 田村　裕美	令和７年９月13日（土）	
高42回	木内　史絵	令和７年10月11日（土）	
高43回	牧野　高敏 丸山　將一	令和７年10月11日（土）	
高32回	滝沢　秀治 和田　邦章	令和７年11月１日（土）	※
高51回	高村　一 町田　直樹	令和８年１月３日（土）	

◇第67回生ホームカミング　―28歳では初の開催―

学年理事　飯塚瑞生

開催日：令和7年4月26日（土）
会　場：メトロポリタン長野
参加者：90人

最初はクラスごとテーブルについて開始したが、クラスの垣根を超えて当時の思い出話や近況など、終始会場は賑やかでした。恩師先生も7名のうち、6名にご参加いただきました。

▼先輩K氏談話「ホームカミングで、出会いを戴きました」

私と彼女は高校時代同じクラスではありませんでしたが、話したことはなく、57回生の「ホームカミング」においても挨拶を交わす程度でしたが、同窓会後の二次会に同席したことで話す機会があり、何かのご縁と連絡先を交換したことがきっかけとなり、交際から結婚するに至りました。

交際期間は半年に満たなかったのですが、同級生ですので相手の素性や人間性を心配することなく、自然と先のことを考えることが出来ました。今では妻子と様々な経験をする中で、ふとした瞬間に幸せを感じる日々を送っています。皆様が良縁に恵まれますようお祈り申し上げます。

支部総会

◇東条鳩会

支部長：小林　稔（高18回）
開催日：10月5日（土）
会　場：東条公民館
参加者：8名

支部鳩会は松代町東条地域に居住する屋代高校の卒業生会員58名で構成している。同窓会本部から栗林副会長のご出席もあり心一つに校歌斉唱から定期総会を開催した。総会の中で本学の現況を栗林副会長から開校百周年を迎えた本校の式典内容等の話があり歴史に浸ることができた。しかし、今回は安全を担保するため懇親会は次回に回すこととした。

◇共和支部

支部長　藤沢善雄（高16回）
開催日：10月19日（土）
会　場：割烹　志麻
参加者：15名

本会から赤地会長をお招きして開催。会長のご祝辞では、躍進する母校の様子や百周年記念事業が盛大に行われたことをお話頂きました。議事は全て承認され、役員改選に移り、支部長に副の越川悟志氏が推挙され、副支部長は飯田茂氏が留任、新たに徳永次男氏が選任されました。

お楽しみの懇親会では、皆で和気あいあいと語り合い、最後に恒例の校歌や応援歌を熱唱し、余韻の残る中、散会となりました。

◇五加支部

支部長　村山和久（高17回）
開催日：令和6年10月20日（日）
会　場：上徳間公民館
参加者：16名

総会前に例年通りマレットゴルフ大会を開催し、風の強い中でも元気一杯のラウンドでした。

表彰式終了後、本会より赤地会長及び長谷川副会長をお招きし、総会を開催、会計報告、次年度予算、役員改選、事業計画等が承認されました。赤地会長からは、100周年事業の報告と御礼、また、今年度の大学合格ランキングのお話、長谷川副会長からは「マリーメイト鳩の会」についてお話をいただきました。懇親会では母校の話に花が咲き青春を思い出し楽しいひとときを過ごし散会しました。

◇西条支部

支部長　栗林秀夫（高19回）
開催日：令和6年10月20日（日）
会　場：松代町「定鑑堂」
参加者：7人

当支部は、同窓会館建設の説明会開催以降、コロナ感染症流行のため総会が開催されずにいましたが、昨年に続き支部総会を開催しました。

最初に栗林支部長（副会長）から、百周年記念事業関係の報告や卒業生の進学状況などの説明がありました。その後、令和5年度の事業報告、決算報告等があり、記念撮影後、情報交換会に入りました。

会員たち一人一人が近況報告をする中で、農村民泊や家庭菜園の話題で盛り上がりました。今後、会員相互の絆をいかに構築するか、役員の後継者をどうするか等の課題について、互いに知恵を出し合い解決することを約束して散会となりました。

事務局長　倉島紀夫（高22回）

◇東福寺支部

支部長　深谷淳（高18回）
開催日：令和6年10月26日（土）
会　場：交流センター東福寺
参加者：7名

支部長改選後令和6年度総会を開催いたしました。

本部会より徳嵩芳夫相談役の出席をいただき100周年記念事業後の同窓会の在り方、在校生の進路状況などを伺い盛大に開催されました。

同窓会支部組織の発展と持続性をはかるため、支部会員の増加を図る方策などを検討いたしました。

懇親の場では相談役の同級生が出席されたことから当時の活動などに花が咲きました。

最後は校歌を高らかに斉唱して散会となりました。

事務局　橋田龍一（高25回）

◇川中島支部

会長　林部敏弘（高17回）
開催日：令和6年11月3日（日）
会　場：川中島町公民館
参加者：15名

本年も来賓として同窓会副会長の長谷川はるみ様をお迎えし、ご祝辞と本部報告を頂きました。本部報告では、100周年記念事業のご報告と御礼、屋代高校100年史の件、ホームカミング等につきご説明頂きました。総会では活動報告や会計報告等満場一致でご承認頂きました。総会の後、毎回行っております講演会、今年は屋代高校出身で長野市内で開業していらっしゃいます弁護士の栗林正清先生（高18回）に、近年社会問題となっているトラブルの話や弁護士業界の実情、また仕事柄暴力団と関わり合った生々しい体験談等をお話いただき、皆大変興味深く聞かせていただきました。講演会終了の後、全員で校歌を高らかに合唱し、写真撮影を行いお開きと致しました。

◇川柳支部

支部長　山本英行（高20回）
開催日：令和6年11月17日（日）
会　場：交流センター川柳分館
参加者：11名

本会より高山副会長、来賓として望月県議会議員をお迎えして開催しました。事業報告・会計報告・事業計画・予算案等の総会事項を審議し今年度の活動を決定しました。

その後、高山副会長より100周年記念事業の報告、ホームカミング鳩会の復活、現役生情報等大変喜ばしい説明を頂きました。

懇談会では近況報告や思い出話で話が弾み、和気あいあいの時間が過ぎました。話は尽きませんでしたが来年度の再開を期して散会となりました。

◇倉科支部

支部長　中村良幸（高19回）
開催日：令和6年11月20日（水）
会　場：倉科公民館
参加者：11名

本会副会長の吉川正徳様をお迎えし開催いたしました。

支部活動報告に続き、吉川様からはお祝辞を頂き、合わせて本会の事業・活動報告、屋代高校の近況等についてお話を頂きました。会員でもある原利夫様からは先ごろの千曲市長選、衆院選を含め、市の状況等について興味深い講演を頂きました。

懇親会は、久しぶりにお会いした面々と近況や情報交換で盛り上がりました。又、初めて出席頂いた方もおり、会員同士のつながりがより広く、深くなりました。次年度は会員増、参加者増を図り、よりよい支部活動を目指したいと思います。

お開きは例年のとおり、校旗を前に、全員で校歌を高らかに斉唱し散会しました。

◇雨宮支部

支部長　髙野敬道（高19回）
開催日：令和6年11月30日（日）
会　場：雨宮研修センター
参加者：13名

コロナ感染防止の為、令和元年以降中止せざるを得ない状況となっていた支部総会を5年ぶりに開催いたしました。本部より吉川副会長に出席を頂きました。校歌斉唱に始まり、決算等支部の報告の後、吉川様より資料と共に母校の現状を説明して頂きました。色々質問等は後ほどと言うことで早速懇親会にと順を進めました。参加者は高12回から高47回と年齢差はありましたが、若い人からの情報は我々にとって身近で新鮮なものでした。話題が尽きず宴は二時間ほどとなりました。楽しいひと時でした。

会員各位には同窓会費納入等は快く協力して頂いており支部役員として感謝しておりますが、支部活動を今後どの様に活性化していけば良いのか今後の課題です。

◇千曲市役所鳩会

支部長　吉池光裕（高36回）
開催日：令和7年2月5日（水）
会　場：味のきばらし
参加者：33名

馬場学校長、赤地同窓会長、吉川同窓会副会長のご臨席のもと、市役所鳩会顧問の小川市長、同窓の市議会議員を含め総勢33名により開催いたしました。

今年度の新入会員は4名で、会員総数は146名となりました。

総会の後に行われた懇親会は、インフルエンザの感染症に配慮した形で行いながらも、年代を超えた交流に話が弾みました。

また、恒例の野球班OBによる寸劇に今年は新入会員も加わった余興、そして総会開催を祝したくす玉が割られるなど、盛大に開催することができました。

幹事長　田中幸夫（高42回）

◇長野県庁鳩会

会長　合津俊雄（高37回）
開催日：令和7年2月13日（木）
会　場：ホテル信濃路
参加者：31名

県庁や長野市内現地機関の同窓生からなる長野県庁鳩会の総会・懇親会を開催しました。

当日は来賓として、同窓会から赤地会長、柳澤副会長、宮原事務局長を、県議会から大畑議員、望月議員をお迎えし、盛大に行うことが出来ました。

懇親会では赤地会長のお言葉、学校からの資料を基に、最新の屋高生の輝かしい活躍を、大変誇らしく伺ったところです。願わくば、大きく羽ばたき成長した後、再び故郷に降り立ち我らが故郷のために活躍していただきたいと考えます。私たち同窓会も、そんなお手伝いが出来たなら大変光栄なことです。

◇東京鳩会

会長　重見憲明（高17回）
開催日：令和7年2月15日（土）
会　場：東京ガーデンパレス
参加者：54名

同窓会赤地会長、長谷川副会長、母校馬場学校長を来賓にお迎えし開催しました。

懇親会においては昨年海上保安庁次長に就任された宮澤康一氏（高37回）より海上保安業務についてご講話をいただいた他、今年も朱紫令真さんを特別ゲストにお迎えし、恒例の応援歌放吟など朱紫さんを交えて大いに盛り上がりました。

コロナ禍の影響により外出を取りやめる高齢会員が増えることを危惧しておりましたが、今年はそれを上回る若手会員の出席や現役大学生の飛び入り参加もあり、活気にあふれた総会・懇親会を楽しみました。

当日の会場スナップ写真を「東京鳩会」のホームページに掲載しております。

担当幹事　伊東博道（高20回）

◇篠ノ井支部

支部長　望月義寿（高39回）
開催日：令和7年3月17日（月）
会　場：割烹川出家
参加者：7名

昨年に引き続き、開催することが出来ました。本部からは宮原一治同窓会事務局長にご出席いただき、後輩達の大学合格力が県内2位となっていることや在校生の活躍状況、ホームカミング鳩会が再開されたこと等を伺いました。懇親会においては、在校中の学びや班活動の話等に花が咲きました。最後は、全員で校歌を高らかに斉唱して散会となりました。

結婚支援事業　「マリーメイト鳩の会」令和７年度予定

第２回　令和７年９月28日(日)
第３回　令和８年２月15日(日)

会場：同窓会館「鳩陵ホール」
時間：午後１時30分～３時30分

【持ち物】
①　身上書：用紙（様式）は同窓会ホームページからダウンロードしたもの
②　写　真：撮影後１年以内のもの　大きさはＬ版程度
【参加費】　初回　2,000円　２回目以降　1,000円。ただし、２名以上の参加の場合は１名につき1,000円追加。
【申込方法・お問合せ】　同窓会ホームページをご覧いただくか、同窓会事務局（☎026－274－3310）、同窓会ホームページからダウンロードし、下記までお送りください。（郵送かFAX）
ダウンロードが難しい方は事務局までご連絡ください。
こちらの二次元バーコードから参加申し込み可能です　→

①送付先：〒387－0005　長野県千曲市屋代859－10
屋代高等学校同窓会宛（FAX　026－274－3315）
②申し込み期限：開催日の１週間前まで
③問い合わせ先：同窓会事務局（☎026－274－3310、平日午後１時30分～５時

副会長　長谷川はるみ

近年、マッチングアプリをはじめとしたネットを活用した婚活スタイルが主流となりつつあります。しかし、親御様の温かい後押しによって築かれるご縁には、ネット婚活とはまた異なる安心感や深いつながりがあることも、私どもは大切に考えております。
マリーメイト鳩の会では、お子さんの結婚を願う親御様同士が直接出会い、語り合う場を提供しています。お子さんの性格や価値観、そして親御さんの想いを直接伝えることで、より深く、信頼できるお相手探しをサポートいたします。和やかな雰囲気の中で行われる会です。みなさまのご参加をお待ちしております。

「無料法律相談会」令和７年度予定

第２回　令和７年11月15日(土)
担当弁護士(山本恭子、柳澤修嗣)
第３回　令和８年３月14日(土)
担当弁護士(倉崎哲也、織　英子)

会場：同窓会館「鳩陵会館」
時間：午前10時～12時

【申込先】　同窓会館事務局(☎026-274-3310)
【受付期間】　各開催日の４週間前～１週間前までの間の、平日午後２時～４時。電話のみの対応です。なお、定員になり次第受付終了となります。
※詳細はホームページでご覧いただけます。

副会長　柳澤修嗣

令和７年度の弁護士による無料法律相談会は，令和７年６月14日（土）、同年11月15日（土）、令和８年３月14日（土）の午前10時から実施します。相談室２部屋で８枠（相談時間一枠30分間）を設け実施します。担当弁護士は、男性と女性が１名ずつ担当し様々な相談に対応します。
同窓会ＨＰや市民新聞などにおいて広報しますので、ご確認の上同窓会事務局まで、お電話でご予約ください。
悩み事や心配事は、一人で心に留めておいても自然に解決するものではありません。ゆっくりと時間をかけて担当者と話し、それを聞いてもらうことで解決へのヒントが見つかるものです。そのような場として、この無料法律相談をご利用ください。

令和７年春の叙勲

次の方が受章されました。誠におめでとうございます。

▼瑞宝双光章　（敬称略）
熊原正典（高15回）
長野市松代町東寺尾

《OB会便り》

◈第76回同窓会ゴルフコンペ

令和７年５月15日(木)
会　場：南長野ゴルフ倶楽部
参加者：23名
優　勝　竹内　保（高11回）
準優勝　松坂喜一郎（高25回）
３　位　竹下　公丈（高11回）

【ご連絡】
第77回同窓会ゴルフコンペ
令和７年９月11日（木）
南長野ゴルフ倶楽部
長野市大岡中牧２７４－１
℡０２６・２６６・２０００

令和６年度末　人事異動

屋代高等学校・附属中学校（敬称略）

転　出（異動）・退　職　者

教科	氏　名	転出先等
国語	西村　拓矢	長野高
地歴公民	神田　弓月	御退職
地歴公民	綿内真由美	須坂高
数学	寺澤　学	長野高（常勤）
数学	平塚　和行	長野高（非常勤）
数学	宮沢　悠太	学びの改革支援課(指導主事)
理科	福島　哲夫	長野西高
理科	薮﨑　温	御退職
保健体育	酒井　正嗣	御退職
保健体育	田島　康彦	長野西中条校
芸術(書道)	佐藤　充	市立長野高
英語	青木　郁子	松本県ケ丘高
英語	清水　貴生	上田高（非常勤）
家庭	花岡由美子	佐久長聖中（非常勤）
養護	佐藤　由美	御退職
副校長	牛山　真弓	伊那市立伊那北小（校長）
国語	春日　理沙	坂城町立坂城中
数学	竹内　祥佳	上田市立第四中
数学	塚田　滉平	佐久市立中込中
英語	小田　佑弥	千曲市立戸倉上山田中
事務長	西澤　正宣	工業技術総合センター
主任	片岡　久敬	篠ノ井高
就学支援金事務補助員	島田　賢二	御退職（９月末で）
教員業務支援員	高澤　政江	御退職

転　入（異動）者

教科	氏　名	前任校等
英語	矢島　裕文	伊那市立伊那北小
国語	荻原　純平	白馬村立白馬中
国語	金丸　美和	市立長野高
地歴公民	飯塚　和幸	上田染谷丘高
地歴公民	西澤　一志	長野西高
地歴公民	堀川　元彰	白馬高
数学	島﨑　邦明	上田高
数学	塚田　喜幸	長野南高
数学	服部　陽行	(東北大・院・情報科学)
数学	三上　恭平	長野市立櫻ケ岡中
数学	八剱　拓也	松代高
理科	高橋　輝行	長野吉田高
理科	松橋　浩一	
保健体育	飯田　稀龍	須坂東高・中野立志館高
保健体育	若林　康彦	上田高
芸術(書道)	塚原　美幸	東御清翔高
英語	清水　映里	茅野市立東部中
英語	西村　晃洋	上田高
家庭	島田喜志子	
養護	櫻井　佑奈	
事務室	増尾　悦子	農業大学校
附属中職員室	石田　光雄	松本県ケ丘高
事務室	小林　千佳	
事務室	春原　聡美	

寄贈・既刊図書紹介

『ふるさと松代再発見』第二巻

城下町松代には、江戸時代２５０年間真田氏が統治したため、歴史的文化的史跡が数多く残っている。ＮＰＯ法人松代「夢空間」は、令和５年度に長野県地域発元気づくり支援金事業を活用して、その史跡を、松代地区内の小中高校の総合的な学習や探究学習に活かしてもらおうと、ふるさと学習支援事業『ふるさと再発見』プロジェクトを立ち上げた。
折しも、令和６年度は、佐久間象山暗殺１６０年の節目に当たり、佐久間象山の資料集を作成することになった。そこで、プロジェクトメンバーが、佐久間象山に関係する様々なデータを分担して集め、それを分かりやすく一冊にまとめて２月に刊行した。
その結果、佐久間象山の人物像や業績、横浜や湯田中に残る史跡等を詳しく知ることができた。町内小中高校や関係機関に配布したところ、大変好評で、買い求める市民も多数に上った。
（副会長　栗林秀夫）

会員訃報（敬称略）

令和７年６月末日現在
謹んで哀悼の意を捧げます。

佐藤　真（中13）	平成16年７月23日	宮坂　恒一（高12）	令和７年２月17日
田村　昭二（中17）	令和７年１月13日	酒井　弘志（高12）	令和６年11月24日
若林　達雄（中18）	令和５年12月10日	風間　秀司（高13）	令和５年６月23日
森山　芳夫（中19）	令和６年４月８日	金児　基夫（高13）	令和７年２月27日
瀬在　幸安（高１）	令和７年２月15日	小林　雄一（高13）	令和６年９月１日
高島　至幸（高２）	※	佐藤　公男（高13）	令和７年３月23日
中島　武（高２）	令和６年12月31日	橋詰　坦（高15）	令和６年７月16日
山口　暢夫（高２）	令和７年２月14日	倉島　文夫（高16）	令和６年12月31日
塚田　正人（高３）	令和７年１月30日	山崎　政男（高16）	令和６年９月10日
三宅　朋夫（高３）	令和７年１月	吉沢　勲（高16）	令和５年７月16日
池田　陽（高４）	令和６年９月17日	田中　重充（高18）	令和６年10月22日
市川今朝好（高４）	令和６年７月13日	徳永　晧（高18）	令和７年５月25日
清水　國武（高４）	令和６年４月10日	市川美喜男（高21）	令和６年５月30日
宮入　宏太（高４）	令和７年２月	矢島　義政（高21）	令和７年３月10日
丑丸　忠光（高６）	令和７年２月27日	中島　茂基（高26）	令和７年４月10日
丑山　寿元（高６）	令和７年５月20日	山崎　秀之（高26）	令和７年４月29日
竜野美津江（高６）	令和６年12月３日	西村　健治（高27）	令和７年３月９日
海野　協親（高７）	令和７年１月６日	島谷　守（高29）	※
滝沢　清志（高７）	令和６年９月27日	唐木　美穂（高31）	※
手塚　本衛（高７）	令和６年12月15日	曽根川元治（高31）	※
宮尾　保雄（高７）	令和７年２月14日	深美　吉正（高33）	※
宮坂　靖彦（高８）	令和６年８月27日	伊藤　里美（高37）	令和６年10月３日
大瀬　秀人（高11）	令和５年10月５日	伊丹　悦子（高37）	令和７年２月27日
浜　浩一郎（高11）	令和７年２月10日		
久保　親二（高12）	令和７年１月１日		
和田　正二（高12）	令和６年10月30日		

（ご遺族・同期生・支部の方々からのご連絡に感謝申し上げます。※は調査中のものです。）

「鳩の会」（母校の教育活動支援）へご賛助のお願い

郵便局　No. 00570－0－44020
加入者名「鳩の会」
※同窓会事務局（☎026-274-3310）にご一報いただければ「払込取扱票」をお送りいたします。

住所変更などのお願い

転居や結婚などで住所変更や改姓された方、ご逝去された会員のご遺族の方は、お手数ですが同窓会事務局にご連絡ください。平日、午後1時30分から5時30分の間在局しています。なお、ホームページの「問合せ・変更」からも連絡いただけます。

ホームページQRコード

『ガチなが』を通じて母校の応援を！

長野県直営「共創型」ふるさと納税受付サイト

母校を応援したい方々の意思を、ふるさと納税を活用して母校につなぎ、学びの場の取り組みを支援する制度です。
寄付金は指定された母校に配布され、教育備品の購入や学校独自の奨学金等に活用させていただく予定です。
申込等はこちらのQRコードから。
なお、このプロジェクト（ふるさと納税）に対する返礼品はありません。

◈鳩の目◈

「バタフライエフェクト」は「非常に小さな出来事が、予想もしていなかったような大きな出来事に繋がること」。日本の諺なら「風が吹けば桶屋が儲かる」に近い▼あるタレントの非人権的なスキャンダルが、某テレビ局の存亡に関わる事件に発展したことは記憶に新しい▼だが米大統領の言動は並みの「エフェクト」ではない。軍事、経済（特に関税）、教育（exハーバード大学への圧力）、環境等世界中のあらゆる分野で影響が出ている。「メキシコ湾をアメリカ湾に替えよ。違反したら罰する」などは序の口である▼我々の日々の活動も「バタフライ…」に繋がる可能性はある。情報が溢れすぎて生きづらい世の中になったが、心して過ごしたいものである。

編集委員
吉川　正徳（高22回）
宮原　一治（高25回）
宮崎　美裕（高34回）
中宮由紀子（高40回）
丸山　春香（高68回）